

令和6年11月21日

保護者の皆様

札幌市立北光小学校
校長 出葉 充

令和6年度 全国学力・学習状況調査について

向寒の候、保護者の皆様におかれましては、日々御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今年4月に6年生を対象に表記の調査が実施されました。つきましては、本校の調査結果の概要をお知らせいたします。なお、本調査は6年生児童にのみ実施されたものですが、課題については学校全体で捉え、授業改善に生かして参ります。今後とも皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

【全国の平均正答率と比較して、以下の基準でお伝えしています】

- ・ +3.1ポイント以上 ⇒ 「上回っている」
- ・ +1.0～3.0ポイント ⇒ 「同程度であるが、やや上回っている」
- ・ -0.9～+0.9ポイント ⇒ 「ほぼ同程度である」
- ・ -1.0～3.0ポイント ⇒ 「同程度であるが、やや下回っている」
- ・ -3.1ポイント以下 ⇒ 「下回っている」

◇教科（国語・算数）に関する調査の結果の概要及び改善の方向について

教科	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
国語	<p>【話すこと・聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 全国平均を上回っている。 <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 全国平均を上回っている。 <p>【言葉の特徴や使い方に関する事項】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 <p>【情報の扱い方に関する事項】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 全国平均を上回っている。 <p>【我が国の言語文化に関する事項】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 全国平均とほぼ同程度である。	<p>○資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。</p> <p>○人物像や物語の全体像を具体的に想像すること。</p> <p>○日常的に読書に親しみながら、読書が自分の考えを広げる助けになることに気付けるようにする。</p>	<p>◆相手や目的に応じた資料を準備・提示し、自分の考えが効果的に伝わるよう表現を工夫できるような指導を行う。聞き手の反応を確認しながら表現するなど、発表スキルを高める活動を支援する。</p> <p>◆人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしながら読めるよう指導する。友達と着目を比べる活動を通して、どの観点で読んだのかを明確にできるように支援する。</p> <p>◆日常的に読書に取り組む機会を確保するとともに、読書の内容について考えたり友達と共有したりする活動を通じて、読書の意義を実感できるよう指導する。</p>

教科	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
算数	<p>【数と計算】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 <p>【図形】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 <p>【変化と関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均に比べ、同程度であるが、やや下回っている。 <p>【データの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国平均とほぼ同程度である。 	<p>○速さの意味について理解していること。</p> <p>○円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができること。</p> <p>○折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できること。</p>	<p>◆具体的な事例を通して速さ・距離・時間の関係を意識させる指導を行うとともに、道のりを基に時間や速さを求める活動を増やし、体感を通して速さの概念を身につけられるよう支援する。</p> <p>◆円グラフの特徴と割合を正しく読み取る力を育成するため、各項目の割合や構成について考える機会を増やし、具体例や日常データを活用して分割や割合の理解を支援する。</p> <p>◆グラフを正確に読み取り、見いだしたことを表現できるように、折れ線や棒グラフの特徴を理解し、必要な数値を抽出する活動を取り入れ、データの変化や傾向を捉える力を育てる。</p>

◇生活習慣や学習環境に関する質問紙調査結果について

<p>【注目すべき質問項目】 %は、肯定的な回答をした児童の割合です。()内は全国平均です。</p> <p>☆学校に行くのは楽しいと思っている。95.2% (84.8%)</p> <p>☆分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができる。87.1% (80.7%)</p> <p>☆5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している。91.9% (86.3%)</p> <p>☆英語の授業の内容はよく分かる。90.4% (78.3%)</p> <p>★将来の夢や目標をもっている。70.9% (82.4%)</p> <p>★学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。77.4% (82.5%)</p>

質問全般において、肯定的な回答の割合が高い傾向が見られました。特に、学び方を工夫したり自分の考えを表現したりするなどの学びに関する項目で高い割合を示しており、子どもたちが主体的に学び、交流を深めながら学習に取り組んでいることが伺えます。

一方で、「将来の夢や目標をもっている」といった将来を見据えた質問では、肯定的な回答がやや少ない傾向にありました。子どもたちが自らの学びと将来とのつながりを感じられるように、また、将来どのような大人になりたいかを楽しく考えていけるよう、引き続き支援していきます。